

会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町ランドデザイン像作成に伴う会議（第 12 回/全 22 回）

場 所：（公財）都市づくりパブリックデザインセンター会議室

日 時：平成 26 年 9 月 22 日（月）13 時 30 分～16 時 00 分

出席者：軽井沢町（企画課（横島参与、森室長、遠藤）

中村委員長、二井先生、udc(小野寺),小野寺事務所(上條),アトリエ T-plus(南)

①「軽井沢ランドデザイン」冊子の用語解説の方針について二井先生より説明があり、協議を行った。結果下記。

【二井先生からの説明内容（概要）】詳細は資料を参照

□用語選定の方針

- ・解説用語は、読者の読みやすさを考え、できるだけ少なくする。
- ・軽井沢ランドデザインを説明する上で重要な用語で、本文中だけでは理解が難しい用語に限定する。
- ・解説が必要な用語は、大きく以下の 3 つに区別できそう。

①専門用語 ②ランドデザインに関わる重要用語 ③軽井沢を深く知るための用語

□解説版の文字数

- ・100～200 字程度

□解説を付ける用語

※解説の有無が必要なもの（本文中で説明できるものは解説が必要か。）

①アートガーデン ②ゲートミュージアム ③インキュベーター（養育苗圃センター）

④里山セラピー

◆用語選定の方針、解説を付ける用語について

- ・用語解説は「解説」の他に、「説明」というニュアンスもある。用語を厳選する基準に異論はないが、本文作業はこれまで中村先生と詰めて議論してきた結果でもある。時間的な問題もあるので、本文の直しは無しの方角で検討して欲しい。必要な解説と説明とが混在するが、割り切って作成して欲しい思いがある。（横島参与）
- ・辞書で理解できる用語への解説は不要である。（横島参与）

→【了承】アートガーデンやゲートミュージアムの用語は、この軽井沢ランドデザイン内での意味として説明する方向とする。（二井先生）

⇒解説の有無が必要かどうかで議論にあがった用語については、全て入れる事とする。

（①アートガーデン ②ゲートミュージアム ③インキュベーター（養育苗圃センター）

④里山セラピー）

- ・「国際親善観光都市」も用語解説して欲しい。「軽井沢国際親善文化観光都市建設法」という法律がある。（森室長）

→【了承】（二井先生）

「国際親善観光都市」や「自然保護対策要綱」等の町の要綱や法律については、町で解説を付ける。

◆文字数と位置について

- ・用語解説の文字数と位置も決定したい。最終頁にまとめて記載するのか、用語が出る頁に記載するのか。（二井先生）

→文字数は100文字程度が良い。（横島参与）

⇒【了承】（二井先生）

→両面の構成上、1頁で収まらない場合は、2頁の見開きでレイアウトする必要がある。章毎か、近接頁に小出しに記載する方が余白を上手く活用する事ができる。（横島参与）

→レイアウト変更を支障がなく、読み手が楽な方向で考えれば、見開き（2頁分）を基本とし、用語が出てくる場合はその右下に記載する方向が良い。用語解説は必ず見開き右下に入れる方向とし、本文を横送りにした方がレイアウトもし易く、収まりも良いのでは。（二井先生）

→その方向で良い。（横島参与）

→【了承】（事務局）

②軽井沢グランドデザイン像冊子について、議論を行った。修正内容を下記。

- ・5つの拠点となる地区のプロジェクト名になる様な用語は残したい。アートガーデン等は解説版では出てくる用語であるが、本編には出てこない。重要な用語については、入れ込んだ方が良い。（中村委員長）

⇒新軽井沢の重要な言葉「ステーションフロント」「国際ホール」は解説版にも入れる。

「ステーションフロント」用語解説は、アートガーデン内に入れ込む。（中村委員長）

→「国際ホール」は本編では「国際会議場」という言葉で使用されている。（二井先生）

※下記「用語統一」にて内容整理

用語統一

今回版	確定版
・まちニハ、まちなわ	・まちなわ ※他の文章とのレベルを統一するために全て平仮名の用語とし、「ニハ」は「にわ」とする。
・発地市庭	・ ^{ほっちいちば} 発地市庭 ※ルビを付ける
・国際ホール ・国際コンベンション都市	・国際会議場 ・国際会議都市 ※藤巻町長の想いは「会議都市」である。会議という用語を使用する。

軽井沢グランドデザイン【本編 パンフレット】

- ・イマイ氏に仕上がりを確認してもらうため、冊子の最終形を1部お送りする。

	修正箇所
表紙	①コンテンツ ・「はじめに・基本理念について」→「軽井沢 22 世紀のはばたき」修正（2 頁のはじめにと 3 頁の基本理念を併せて「軽井沢 22 世紀のはばたき」とする） ②レイアウト ・左端の英字を外す。

はじめに・ 年表	①はじめに ※町長挨拶（はじめに）と小学生の絵画（3枚） →軽井沢町からデータを頂く
基本理念	①背景画（浅間山の写真） ・案①～④を提示 →案④を採用 若干ススキの青みを加え、ススキの分量を減らすために写真を下に下げて調整する。 案①は、ビニールハウスが良い位置に写っている事が気になる。 案④は冬景色だが、雪が積もっている浅間山も印象的で表情も良い。荒涼とした雰囲気もあり、文字とのバランスも良い。
軽井沢 100 年 未来デザイン 像	①軽井沢 100 年グランドデザイン画（イマイ氏の画） ※イマイ氏との顔合わせ&協議：8月29日、9月9日（下書き初見せ） 1) 名称の短冊および画の大きさについて ・公共施設と地名、5つの拠点の核となる施設を表記（20程度） （冊子内に入れ込むと画を含め短冊も小さくなる。画の中に入れてしまうと消す事はできない。必ず入れるものに限定する必要がある。民間施設は全て削除する。代表的施設のみ記載するかは要検討。） ・金沢、大阪、京都の地名を表記 →画にも新幹線ルートを記載等で表現してもらう。 （北陸新幹線との関係を示す。） ・短冊は密度とバランスも考慮 ・路線については、名前を記載するのではなく、電車の絵を入れて表現 ・地名と施設は短冊の色で変化は付ける ⇒詳細については軽井沢町で再確認 補足：A1～A2サイズの軽井沢 100 年グランドデザイン画（イマイ氏の画）は軽井沢の各 17 施設にパネルとして掲載予定。 ②構成 ・「高原保養都市・軽井沢風土自治圏」の文字は右端に移動 （重要な言葉になるため、文字を独立させ引き立たせる。） ・写真を入れ込むかどうかは、図版（入れ込むサイズ等）が決定した段階で判断する。【保留】（画を引き立たせる事を第一とする。） ③タイトル ・軽井沢 100 年未来デザイン → 軽井沢 100 年グランドデザイン ⑤写真（入れる場合） ・少しでも見易くするために、正方形から横長にサイズ変更 ・キャッチコピーと対応した写真を入れ込む→写真は町から提供 6→教会の外観 7→池越しの大賀ホール 8→駅前のくっつけテラス 11→外での農業風景 12→乗馬の風景 14→冬の浅間山 18→堀辰雄記念館の外構

軽井沢エリア
デザイン像

①構成

- ・写真は削除し、左頁の文章は、解説版の文章を入れ込む
- ・模型写真は全体的にトーンを明るく修正

【軽井沢の新しい交通ネットワーク】10頁

①タイトル

- ・軽井沢の新しい交通ネットワーク
→ 軽井沢の新しいふるさと・未来交通ネットワーク

②マップ

- ・簡略化した概念図に書き直し
徒歩、自転車、馬、LRT、鉄道、高速道路を表現
(河川等の必要ない情報を削除し、交通ネットワークのみを表現する。新しい交通の楽しさを表現する。)

③写真、キャプション

【写真】

- ・写真はもう少し大きいサイズに変更

【キャプション】

- ・町内バス→「コミュニティバス、オンデマンドタクシー」
- ・しなの鉄道敷の活用→しなの鉄道との関係
- ・ウォーキング→ウォーキング（ぶらぶら歩き）
- ・(提案) という言葉を削除

⇒写真は町から提供して頂く

⇒他の頁より内容が薄い状況である。もう一工夫の検討が必要
(モビリティがライフスタイルの一部である事を表現)

軽井沢グランドデザイン【解説編 パンフレット】

- ・地色の黒が重すぎる。緑色に変更して検討して欲しい。

⇒【了承】(事務局)

③スケジュールについて。

- ・12月10～12日で町民説明会を実施。中村先生、二井先生、小野寺氏のご出席をお願いする。⇒【了承】
- ・10月14日までに、冊子に入れ込む内容については確定する。委員会後に打合せをする。

○次回の協議について

- ・次回会議は、全委員参加の会議で平成26年10月14日(火)とする。

・議題は

- 1) 100年未来デザイン
- 2) エリアデザインのスケッチ
- 3) グランドデザイン像冊子【本編】
- 4) グランドデザイン像冊子【解説版】
- 5) 工程表(作業項目と日程)
- 6) 会議開催予定日程

○配布資料

1. 次第
2. 100年未来デザインの短冊配置（案）
3. エリアデザインのスケッチについて
4. 軽井沢グランドデザイン像冊子（案）
5. 軽井沢グランドデザイン像冊子【解説版】
6. 軽井沢グランドデザイン像冊子【解説版】用語解説

以上